

JB 2030

JAPAN BOWLING



# 「JB 2030」とは



2024年4月、  
全日本ボウリング協会は JAPAN BOWLINGへ

新しいVISION = JBのなりたい未来像に到達すべく  
MISSION = 使命・目的を明確に持った事業を  
展開していきます。



VISION – JAPAN BOWLINGがめざすもの

JB 2030 VISION

**BOWL FOR ALL!**

すべての人に、ボウリングを

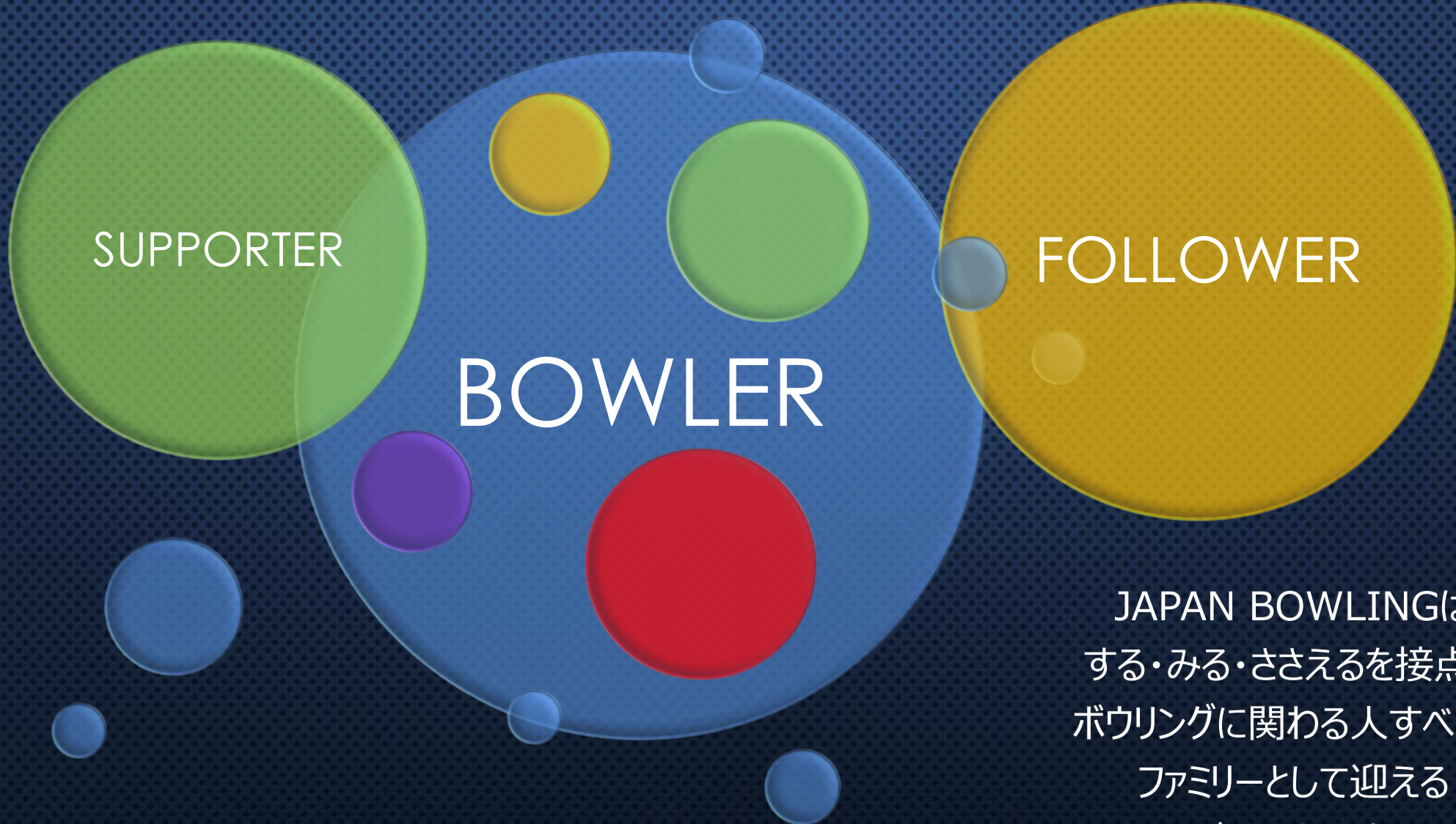
人々の様々な個性を尊重して

その人に合ったボウリングの取り組み方、楽しみ方を提案し

ボウリングに関わる人「**ボウリングファミリー**」の輪を広げていきます



# VISION - ボウリングファミリー



SUPPORTER

BOWLER

FOLLOWER

JAPAN BOWLINGは  
する・みる・ささえるを接点に  
ボウリングに関わる人すべてを  
ファミリーとして迎える  
家となります



# VISION - ボウリングファミリー

フォロワー

サポーター

学生連合

都道府県ボウリング連盟

公認競技場センター

各地区連合

支部・クラブ

実業団  
クラブ

高等学校  
クラブ

センタークラブ会員

大学クラブ

学生会員

個人会員

ジュニア  
会員

実業団  
会員

高校登録  
会員

センタージュニアクラブ会員

JAPAN BOWLING



# VISION - GOALへのロードマップ

## GOAL



### 中期収支計画

科目

(単位:千円)

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
一般正味財産				
基本財産運用益	6	6	6	6
会費収入	22,115	26,000	33,000	26,000
事業収入	55,500	55,000	55,000	55,000
補助金収入	65,677	65,000	66,000	67,000
負担金収入	117,840	110,000	120,000	120,000
寄付金収入	0	0	0	0
雑収入	6,478	6,000	6,000	6,000
経常収益計	267,616	262,006	280,006	274,006
事業費	261,676	256,006	273,006	266,006
管理費	5,940	6,000	7,000	8,000
経常費用計	267,616	262,006	280,006	274,006

- **オリジナルスタイルでメジャースポーツに**  
アスリートとの距離が最も近いスポーツであり続ける
- **満足度・継続率の高いスポーツに**  
ボウラーの意識を中期的に定点観測し、85%を維持する
- **ボウリングアリーナ完成**  
スポーツボウリングの証明として、聖地となるアリーナを持つ
- **ボウリングファミリー構築**  
ボウラー1500万人 (うちJB会員ボウラー5万人)  
フォロワー1000万人、サポーター1万人達成



# MISSION – 事業

1. ボウラーのレベルに応じた事業
2. ボウラーの年齢に応じた事業
3. ボウラーの多様な個性に応じた事業
4. フォロワーとボウラーをつなぐ事業
5. フォロワーにボウリングを見せるための事業
6. サポーターの人材を育成する事業
7. サポーターの環境・組織づくりを支える事業
8. サポーターとボウラーをつなぐ事業
9. サポーターとフォロワーをつなぐ事業

2030GOAL到達のため

JBの全事業に  
MISSIONを持たせる

MISSIONに応じた  
新規事業を  
開発する



# MISSION - 1.ボウラーのレベルに応じた事業

成長への連続性を示し、ボウラーの上達意欲を促す事業を展開する

レベル	目的	取り組み	目標
レジャーボウラー	ボウリングが趣味になるよう誘い、ボウリングの面白さを発見させる	<ul style="list-style-type: none"><li>キャラバン隊</li><li>ハウスボール大会</li></ul>	新規入会誘導 新規会員数増加目標達成
リーグボウラー	地域における競技の活性化を促す  より高い目標への接点・ステップを設ける	<ul style="list-style-type: none"><li>公認リーグ・競技会</li><li>公認消化ゲーム数表彰</li><li>全日本クラブ対抗選手権大会</li><li>健康ボウリング教室向けイベント</li></ul>	全公認競技場での競技促進 達成者数目標到達 全都道府県参加 新規立ち上げ
チャレンジボウラー	より高い目標・広いフィールドに挑戦するモチベーションを創出する	<ul style="list-style-type: none"><li>全日本新人選手権大会</li><li>東日本・西日本選手権大会</li><li>1ゲームマッチトーナメント戦</li></ul>	全加盟団体参加 ビギナー・個人普通会员の参加増進 全加盟団体参加 新規大会参加者獲得
アスリートボウラー	アスリートの高い志向性を満たす	<ul style="list-style-type: none"><li>全日本選手権大会</li><li>全日本選抜選手権大会</li><li>全国都道府県対抗選手権大会</li><li>国民スポーツ大会</li><li>オイルパターンの難易度設定</li><li>ランキング上位者向け大会</li></ul>	全加盟団体参加 全加盟団体参加 全都道府県参加 (ブロック大会)全都道府県参加 主催大会参加者数の増加 ランキング対象大会参加数増加
スターボウラー	憧れの存在として、海外に挑戦し結果を残す 次世代スター選手を発掘し育成する  シニアのスター選手を強化する	<ul style="list-style-type: none"><li>新強化システムの導入</li><li>ナショナルチーム</li><li>ユースナショナルチーム</li><li>ジュニアジャパン</li><li>シニアジャパン</li></ul>	常に最強の日本代表選手を抜擢 公式国際大会メダル数目標到達 強化の効果測定 強化の効果測定 強化の効果測定



# MISSION – 2.ボウラーの年齢に応じた事業（1）

どの年代においても、ビギナーとしての参入しやすさを維持し、ボウラーの増加につなげる  
どの年代においても、目指すべきトップがある状態を維持し、ボウラーのモチベーションを高める

年齢層	目的	取り組み	目標
キッズ (小学生)	上達・成長するための目標を提示し、より高いレベルの存在を知らせる	・ 全日本小学生競技大会（特別指導会）	全都道府県参加
ジュニア (中高生)	同世代で競い高めあう機会を設ける  より広い活躍フィールドの存在を提示し育成強化する	・ 全日本中学選手権大会 ・ 全日本高校選手権大会 ・ ユースナショナルチーム ・ ジュニアジャパン	全都道府県参加 全都道府県参加 強化効果測定 強化効果測定
ゴールデン (18歳~20代)	国内トップ、日本代表として活躍する	・ ナショナルチーム	公式国際大会メダル目標数到達
ミドル (30~40代)	国内トップ、日本代表として活躍する 同世代で競い高めあう機会を設ける	・ ナショナルチーム ・ 日本スポーツマスターズ	公式国際大会メダル目標数到達 (ブロック大会) 全都道府県参加
シニア (50~60代)	シニア世代の公式国際大会日本代表を育成強化する 生活と競技の両立を前提に、高いレベルを維持し活動できる場を設ける 生涯スポーツかつ競技スポーツとして、ボウリング実践の場を設ける	・ シニアジャパン  ・ 日本スポーツマスターズ  ・ 全日本シニア選手権大会 ・ 東日本・西日本シニア選手権大会	公式国際大会メダル目標数到達  (ブロック大会) 全都道府県参加  全都道府県参加 全都道府県参加



# MISSION – 2.ボウラーの年齢に応じた事業（2）

どの年代においても、ビギナーとしての参入しやすさを維持し、ボウラーの増加につなげる  
どの年代においても、目指すべきトップがある状態を維持し、ボウラーのモチベーションを高める

年齢層	目的	取り組み	目標
マスターズ (70代以上)	生涯スポーツかつ競技スポーツとして、ボウリング実践の場を設ける	<ul style="list-style-type: none"><li>全日本シニア選手権大会</li><li>東日本・西日本シニア選手権大会</li></ul>	全都道府県参加 全都道府県参加
全年齢層	同世代で競い高めあう機会を、全年齢層に設ける	<ul style="list-style-type: none"><li>全日本年齢別選手権大会</li><li>オーバーオールチャンピオン導入</li></ul>	全都道府県参加



# MISSION – 3.ボウラーの多様な個性に応じた事業 (1)

あらゆる個性を受容し、ボウリング参入・継続への障壁を減らす

個性	目的	取り組み	目標
性別	競技参加人口の男女差を少なくする	<ul style="list-style-type: none"><li>オールジャパンレディストーナメント</li><li>総務委員会</li><li>公認審判員、JSPO公認コーチ、JBコーチ、公認ドリラー、公認ボール検査員</li></ul>	女性会員数目標達成
	役員等の男女差を少なくする		ガバナンスコード目標達成
協会公認資格者の男女差を少なくする	女性有資格者数目標達成		
ライフスタイル	競技参加のための母体の充実と積極展開	<ul style="list-style-type: none"><li>実業団への勧誘キャンペーン</li><li>学生連合への勧誘キャンペーン</li><li>公認競技場制度</li><li>会員登録料金の改定（複数年登録・割引の導入）</li><li>会員登録優遇キャンペーン（入会金優遇・記念品贈呈・特典）</li></ul>	実業団会員増加目標達成
	地域コミュニティとしてのクラブの活性化		学生連合会員増加目標達成
ライフスタイルの変化に伴う競技離れを抑止し、競技への適切な取り組み方を提案する	全公認競技場にクラブ設置		
	会員増加目標達成		
職業 キャリア	国内外プロ競技団体との連携強化と選手のプロ活動推奨	<ul style="list-style-type: none"><li>プロ活動との両立支援</li><li>全日本実業団選手権大会</li><li>全日本実業団産業別選手権大会</li><li>全日本実業団都市対抗選手権大会</li><li>アスリート・アントラージュ委員会</li></ul>	プロライセンス保持会員数目標達成
	実業団活動を通じて企業・競技者双方の利益を向上させる		全都道府県参加
	全都道府県参加		
競技と仕事の両立支援	全都道府県参加		
	両立支援システム・事業の創設		



# MISSION – 3.ボウラーの多様な個性に応じた事業 (2)

あらゆる個性を受容し、ボウリング参入・継続への障壁を減らす

個性	目的	取り組み	目標
中学部活動	新しい地域クラブ活動への参入	<ul style="list-style-type: none"><li>ジュニアクラブ対象会員制度</li></ul>	全都道府県にクラブ設置
高校部活動	高校部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"><li>全国高等学校対抗選手権大会</li><li>高体連加盟推進委員会</li><li>高等学校登録新規登録者優遇キャンペーン</li></ul>	全都道府県参加 高体連加盟連盟数目標達成とインターハイ種目化達成 高等学校登録会員数増加目標達成
大学部活動	大学部活動としてのボウリングの活性化	<ul style="list-style-type: none"><li>全日本大学選手権大会</li><li>全日本大学個人選手権大会</li></ul>	全地区・男女大学参加 全地区・男女参加
LGBTQ	ニーズの把握と対応策の開発	<ul style="list-style-type: none"><li>アスリート・アントラージュ委員会</li></ul>	専門機関等との連携による情報収集と課題解決
障がい	競技環境の整備と競技活発化を目指す	<ul style="list-style-type: none"><li>総務委員会</li><li>競技委員会</li><li>強化委員会</li></ul>	国内統括各団体との連携強化と課題解決への協力 国内での大会開催支援 国際大会派遣協力
志向性	同じ志向を持つボウラーとのつながりを促進する	<ul style="list-style-type: none"><li>連盟の枠を超えたチーム戦の創設</li><li>家族対抗大会の創設</li></ul>	新規参加者獲得 新規参加者獲得
再帰	第一線から離れた選手の再帰を促す	<ul style="list-style-type: none"><li>復帰・再登録を促すキャンペーン</li></ul>	会員復帰者数目標達成



# MISSION – 4.フォロワーとボウラーの接点となる事業

フォロワーがボウラーに親しむ方法を整備する

区分	目的	取り組み	目標
ボウラー×観る	スター選手とともにプレーする機会	<ul style="list-style-type: none"><li>キャラバン隊（全国行脚終了に伴うリニューアル）</li><li>トップボウラーとの交流企画を全国各地で開催</li><li>ふれあいボウリング</li><li>次世代スター・アイドル選手を起用したプロモーション</li></ul>	新規入会誘導
	エンターテインメント性の高い選手露出の機会		新規入会誘導
ボウラー×視る	各種媒体を活用したアスリート情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>広報（公式SNS、機関誌発行）</li></ul>	閲覧・視聴数目標達成



# MISSION – 5.フォロワーにボウリングを見せるための事業

フォロワーがボウリングを見る・知る方法を整備する

区分	目的	取り組み	目標
ボウリングを観る	アスリートの躍動をその場で見る	<ul style="list-style-type: none"><li>全日本選抜選手権大会（観戦動員、滞在型イベント化）</li><li>大会式典内容の刷新</li></ul>	観客動員数目標 観客動員数目標
ボウリングを視る	競技に関する情報の配信  視ることを目的とした層へのサービス向上	<ul style="list-style-type: none"><li>大会ライブ配信</li><li>競技成績配信</li><li>入会プロモーション動画の配信</li><li>大会競技情報等の公開</li><li>フォロワー会員制度の導入</li></ul>	視聴数目標 閲覧数目標 新規入会者数目標 閲覧数目標 新規入会者数目標
ボウリングを知る	アスリートの力量を可視化する	<ul style="list-style-type: none"><li>ランキング制度の構築</li></ul>	フォロワー会員数目標



# MISSION - 6. サポーターの人材を育成する事業

ボウラーの競技活動を支えるスペシャリストを養成し活用する

区分	目的	取り組み	目標
指導者、トレーナー、スポーツドクター	アスリートに適切な指導とケアを施し、成長を促す人材の開発・養成と活用	<ul style="list-style-type: none"><li>JBコーチ制度</li><li>JSPPO公認指導者資格</li></ul>	有資格者数目標達成 有資格者数目標達成
ドリラー	ボールのスペシャリストとしてアスリートをサポートする人材の開発・養成と活用	<ul style="list-style-type: none"><li>JB公認ドリラー制度</li></ul>	有資格者数目標達成
審判員、ボール検査員	公平な競技を実施するための人材の開発・養成と活用	<ul style="list-style-type: none"><li>JB公認審判員制度</li><li>JB公認ボール検査員</li></ul>	有資格者数目標達成 有資格者数目標達成
大会スタッフ	競技会の運営を支える人材の開発・養成	<ul style="list-style-type: none"><li>会員増強対策委員会</li></ul>	会員数目標達成
各種人材とアスリートのマッチング	全国どこにでもスペシャリスト人材がいるよう養成する アスリートが適切なサポートをどこでも受けられるよう整備する	<ul style="list-style-type: none"><li>各種資格制度</li><li>各種資格制度</li></ul>	各都道府県における有資格者数目標到達 マッチングシステムの開発
技術・知識向上	最新の情報を取り入れ、技能をさらに向上できる取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>公認審判員、JBコーチ制度、JSPPO公認指導者資格、JB公認ドリラー</li></ul>	上級資格者数目標達成
セカンドキャリア	競技活動と学業・仕事の両立を前提としたキャリアートの開発	<ul style="list-style-type: none"><li>実業団・学生連合への勧誘キャンペーン</li></ul>	実業団・学生連合会員数目標到達
役員	幅広い意見交換とIF等海外組織との連絡・連携	<ul style="list-style-type: none"><li>理事及び委員会委員への登用</li></ul>	弁護士有資格者を理事へ採用 英語が堪能者を理事へ採用



# MISSION - 7. サポーターの環境・組織づくりを支える事業

ボウラーの活動基盤として、集まる場所・仲間・しくみを整える

環境・組織	目的	取り組み	目標
ボウリングセンター	ルールに準拠した競技施設・設備の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>公認競技場制度</li></ul>	国内全ボウリング場の公認競技場化
クラブ	ボウラーがチーム、仲間として集まる母体の整備 ボウラーがフレキシブルに参加できるクラブの枠組み構築 クラブチーム同士が力量を競い合う機会の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>公認競技場制度</li><li>連盟の枠を超えて参加できるチーム戦</li><li>全日本クラブ対抗選手権大会</li><li>オンラインクラブ対抗選手大会権（仮称）</li></ul>	全公認競技場にクラブ設置 新規参加者獲得 全都道府県参加 新規参加者獲得
競技会・リーグ	ボウラーが競い合う機会の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>全公認競技場で公認リーグ・競技会を実施</li></ul>	公認競技促進、公認競技場数増加



# MISSION - 8. サポーターとボウラーをつなぐ事業

サポーターが持つ多種多様なスキルを、ボウラーとつなげる

手段	目的	取り組み	目標
物品	ボウラーが使用する競技必需品の提供を受ける 大会にボウラーのモチベーションが高まる 副賞を設定する	<ul style="list-style-type: none"><li>マーケティング戦略委員会</li><li>マーケティング戦略委員会</li></ul>	オフィシャルサプライヤー契約目標達成 オフィシャルスポンサー契約目標達成
資金	ボウラーの活動資金を広く募集する	<ul style="list-style-type: none"><li>スポンサー開拓</li><li>助成金の活用</li><li>寄付行為</li></ul>	オフィシャルスポンサー契約目標達成 活動資金の獲得 活動資金の獲得
技術	ボウラーの活躍を技術・技能で支える	<ul style="list-style-type: none"><li>JB公認コーチ制度</li><li>JB公認ドリラー制度</li></ul>	有資格者数目標達成 有資格者数目標達成
人材	ボウラーと活動を支援する人材をつなげる	<ul style="list-style-type: none"><li>特別会員制度（継続年数特典新設）</li><li>都道府県連盟への会員登録実績表彰</li></ul>	登録者数目標達成 登録者数目標達成
情報	ボウラーに競技活動に必須の情報提供体制の構築	<ul style="list-style-type: none"><li>オンラインレッスンの新設</li><li>コース制レッスンカリキュラムの開発と教室実施</li></ul>	新規会員誘導 新規会員誘導



# MISSION - 9. サポーターとフォロワーをつなぐ事業

サポーターが持つ多種多様なスキルを、フォロワーとつなげる

手段	目的	取り組み	目標
物品	フォロワーの応援意欲を促進する物品の開発	<ul style="list-style-type: none"><li>オリジナルグッズの開発と販売</li></ul>	収益事業の増収
資金	フォロワーの期待に応える施策で対価を生む	<ul style="list-style-type: none"><li>収益性事業の開拓</li></ul>	事業資金の獲得
技術	オンラインでフォロワーとボウリングの接点を創出する オフラインでフォロワーとボウリングの接点を創出する フォロワーを対象とした会員システムを創設する	<ul style="list-style-type: none"><li>Web・SNS展開における技術導入</li><li>ボウリング博覧会イベントの開催</li><li>アプリ開発のためのIT技術支援の獲得</li><li>フォロワー会員制度の導入</li></ul>	新規フォロワー獲得 新規フォロワー及び新規会員獲得 新規フォロワー獲得
情報	ボウリングの競技環境を整備するための情報提供	<ul style="list-style-type: none"><li>総務委員会</li></ul>	スポーツ環境保全活動の推進